

女性つながりサポート事業【彦根市】

地域の実情と課題

「25歳から44歳までの女性の就業率」をみると、平成28年度の75%より徐々に増加し、平成30年度では約80%に達したが、新型コロナウイルス感染症が発生した令和元年度に減少に転じ、令和2年度はその水準を維持している。就労者のうち非正規就労者性別割合は、男性11.2%に対し、女性は27.1%となっており、男性に比べ不安定な経済状況に置かれている女性が多い。コロナ禍においては、感染拡大防止のため、営業自粛などの影響が大きいと考えられるサービス業に従事する非正規の女性、および社会全体に占めるコロナ禍の影響に対する困難や不安、孤独を抱える女性に寄り添い、支援する体制が必要である。

事業の特徴

○つなサポサロン

男女共同参画センター「ウイズ」を利用し、女性スタッフをファシリテーターとして、コロナ禍における不安や困難を抱える女性達が気軽に話せる場を提供し、仲間づくりのきっかけとする。

○つなサポ相談室

コロナ禍における困難、不安などを抱える女性に対応するため、専門ダイヤルを開設するとともに、個別の面談相談窓口を設置する。

○つなサポスマイルプロジェクト

生理用品の購入が困難な女性を対象に生理用品を無料配布することで、生理の貧困を解消するとともに、「つなサポサロン」や適切な相談窓口へ繋げる。

事業の効果

○「つなサポサロン」参加人数 82人（目標値15人）

同じ境遇、悩みを抱える女性同士の悩みの共有や情報交換ができ、支え合いの中で孤独や不安の解消の一助となることができた。

○「つなサポ相談室」相談者数(電話・面談) 21人（目標値45人）

相談者からは「安心して相談できた」等と言った感想が聞かれ、支援が必要な女性に必要な支援が届けられた。

○「つなサポスマイルプロジェクト」生理用品提供 211パック

生理用品の提供をきっかけとし、必要な支援窓口へ繋げることができた。

○専用ホームページの閲覧者数 3,302人（目標値180人）

ブログ等をこまめに更新することで、事業に対する新鮮さを保ち、閲覧者数の増加に繋げることができ、本事業に対する一定の理解と認知度が広まった。

目的・目標

コロナ禍により不安や孤独を感じている女性に対し、思いを共有する場を提供するとともに、それぞれの実情に即したきめ細やかな相談に対応する体制を充実させ、「一人にさせない」、「独りを感じさせない」ことによって、コロナ禍を乗り越え、さらに今後につなげていく仲間づくりのきっかけとすることを目的に実施する。また、必要に応じて、貧困による生理用品の不足に対する援助をするとともに、適切な相談窓口へつなぐことで、女性の自立を図る。

[目標]つなサポサロン参加人数15人、つなサポ相談室相談人数45人、専用HP閲覧者数180人

連携団体

- ・「ウイズで集う会」(事業委託先任意団体、彦根市男女共同参画センター「ウイズ」指定管理者)
- ・社会福祉法人彦根市社会福祉協議会
- ・彦根公共職業安定所
- ・市内大学 ・市内病院
- ・市内商業施設、薬局
- ・保・幼・各学校等
- ・行政(女性活躍推進室・福祉センター)

今後の課題

支援が必要な女性に対する安定した継続的な行政支援を提供できる体制の整備とともに、本事業に参加した孤独や困難を抱える女性同士の繋がりを自発的な活動に繋げるような支援が必要である。

また、コロナ禍における女性が必要とする支援のニーズの把握、特に生理の貧困に対する生理用品の必要性については、適切な支援窓口へ繋げることも含めて、実態把握と検証が必要であるとともに、県や近隣市町との情報共有、連携体制の強化が必要である。

事業の概要

○つなサポサロン 参加人数 82人
 (木曜日 10:00~12:00)
 男女共同参画センター「ウィズ」にて、不安や困難を抱える女性達が気軽に話せる場を提供し、仲間づくりのきっかけとなりました。

電話相談



おしゃべり
 サロン

面談相談

モチーフの「菜の花」について
 早春に咲く「菜の花」
 その花言葉には「小さな幸せ」「希望」があります。
 今は辛くても「小さな幸せ」や「希望」は、必ず身近にあります。
 私たちと一緒に、みつけましょう。



相談員紹介



沢村 保代 (さわむら やすよ)

メッセージ

うまく話そうとする必要はありません。
 今の気持ちを思いのままにお話しにしてくださいね。



瀬口 美津子 (たきぐち みつこ)

メッセージ

誰にも相談できない「体」や「心」の悩みについても、気軽に相談してくださいね。

○専用ホームページ作成 閲覧者数 3,302件
 事業の広い周知に繋がりました。

令和3年度

彦根市女性つながりサポート事業

つなサポ



1人で悩んでいませんか？

「つなサポ」とは、コロナ禍により、「不安」や「孤独」を抱えている女性に寄り添うためのサポートです。

彦根市在住・在勤・在学の女性なら、どなたでもご利用いただけます。

電話・面談
 による相談

おしゃべりサロン 生理用品の配布



○つなサポ相談室 相談者数(電話・面談) 21人
 *電話相談 水・金 9:00~12:00
 月・水~土 13:00~16:00
 *面談相談(完全予約制)
 (WEB予約(24時間対応))
 月・土 9:00~ 10:00~ 11:00~

○つなサポスマイルプロジェクト 211パック提供
 生理用品の購入が困難な女性に生理用品を無料配布し、生理の貧困を解消するとともに、「つなサポサロン」や適切な相談窓口へ繋ぐことができました。

サポート事業
 ひこね

**アンケートのご協力を
 お願いします**

彦根市女性つながりサポート事業「コロナ禍による影響について(おたすね)」
 このたび「彦根市女性つながりサポート事業事務局」では、新型コロナウイルス感染症(以下、「新型コロナ」)の拡大による女性への影響を把握し、今後の活動に活かすため、このアンケートを実施いたします。

こちらを
 読み取ってください

○アンケート 回答445件
 事業検証のためWEBアンケートを実施